授業科目名・形態	介護総合演習Ⅲ　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　柴田博　今野修	実務経験の有無	有	開講期	２年後期
科目ナンバリング	W6-2003c				

【授業の主題】

介護実践に必要な知識と技術の統合を行なうとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。介護実習Ⅱ終了後の各自の振り返りを中心に授業を行う。各自の課題、それについての解決策を探る。また、今後の介護実習Ⅲで行われる個別援助計画についてICFを参考にして理解する。

【到達目標】

１．質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる実践研究の意義とその方法を理解する。
２．介護実習Ⅱについての課題の解決策を考察し、介護実習Ⅲで行われる介護過程実施の基礎知識を得る。
３．介護計画のアセスメント・計画の立案・実施・評価の過程を実践できるようになる。

【授業計画・内容】

第 1 回　介護実習Ⅱの振り返り、課題について討議（各実習施設担当教員による）
第 2 回　介護実習Ⅱの課題についての解決策（各実習施設担当教員による）
第 3 回　介護実習Ⅱの報告①
第 4 回　介護実習Ⅱの報告②
第 5 回　介護実習Ⅱの報告③
第 6 回　ICFを利用したアセスメント方法について
第 7 回　ICFを利用したアセスメントシート記入について
第 8 回　カンファレンスの進め方やグループディスカッションの方法について①
第 9 回　カンファレンスの進め方やグループディスカッションの方法について②
第10回　他職種の業務や相互の連携について
第11回　医学的健康管理やリハビリテーションについて
第12回　事例についてICFを利用した介護計画の立案について①
第13回　事例についてICFを利用した介護計画の立案について②
第14回　介護実習Ⅲのための各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）
第15回　介護実習Ⅲに関する諸注意事項の確認と実習最終準備作業

【授業実施方法】

基本的に演習形式で行う。

【事前・事後学習】

毎回、テキストを中心に30分の予習及び演習内容を踏まえた30分の復習を行うこと。また、介護実習Ⅱで関わった利用者についてはアセスメントできるようにしておくこと。

【主な関連する科目】介護過程、介護の基本、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座10　介護総合演習・介護実習　第2版　中央法規出版

【参考文献】

必要時に資料を配付する。

【成績評価方法】

授業態度等10%、授業内での発表30%、レポート及び実習計画書、実習報告書等の提出物60%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で介護職員として介護業務を経験してきた。介護現場での経験を活かし、利用者主体の介護計画等が立案できるように指導していきたい。

【学生へのメッセージ】

介護実習Ⅱで関わった利用者の状況を整理し、介護実習Ⅲで行なわれる個別介護計画を意識して毎回の授業に参加してほしい。